

報告第 1 1 号

令和 3 年度公益財団法人宇治市野外活動センター事業計画並びに予算の報告について

地方自治法第 2 4 3 条の 3 第 2 項の規定に基づき、令和 3 年度公益財団法人宇治市野外活動センター事業計画並びに予算について、別紙のとおり報告する。

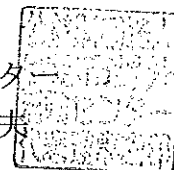
令和 3 年 6 月 1 0 日提出

宇治市長 松 村 淳 子

2 公財宇野活第 197 号  
令和 3 年 3 月 31 日

宇治市長  
松村 淳子 様

公益財団法人宇治市野外活動センター  
代表理事 杉本 厚夫



令和 3 年度公益財団法人宇治市野外活動センター  
事業計画及び収支予算について

令和 3 年度公益財団法人宇治市野外活動センター事業計画及び収支予算を別紙の通り定めたので報告します。

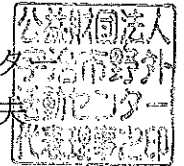
議案第4号

令和3年度公益財団法人宇治市野外活動センター  
事業計画について

令和3年度公益財団法人宇治市野外活動センター事業計画を別紙のとおり定めることについて、議決を求める。

令和3年3月6日提出・可決

公益財団法人宇治市野外活動センター  
代表理事 杉 本 厚 夫



令和 3 年度

事業 計画

公益財団法人 宇治市野外活動センター

## 1. 年度事業方針

豊かな自然を生かし、市民各層の交流と余暇時間の有効活用を図るとともに、過疎化の進む地域の振興を図ることを目的として宇治市総合野外活動センターが開設されて 20 有余年、公益財団法人宇治市野外活動センターは一貫して施設の管理運営を任されてきた。

とりわけ平成 23 年以降、公益財団法人へと移行してからは、より公益性が求められることとなり、平成 25 年には今後 10 年の長期ビジョンを示す長期運営計画を策定し、現在は本計画に基づき計画的・安定的な経営を行っているところである。

その中で、令和 3 年度は 5 年間の指定管理者としての最終年度であり、当法人としては期間中の実績を総括し成果及び課題を検証して、次期指定管理者として指定されるべく、より高水準のサービスを提供するための事業提案を行う重要な年度であると考えている。提案するには、実績に則った方法だけではなく、最新の社会状況を的確にとらえて時代を先読みすることが不可欠である。したがって、今年度は新たな取り組みとして、各々の主催事業の目的に SDGs(※1)の理念を取り込み、優先順位を定めて事業に具体的な目標を反映させ、公益性を高めていく。

また、日常的な施設運営についても、お客様への感染症対策のチェックや随所の消毒など、職員一同感染症予防を徹底し、安心してご利用いただける施設となるようお客様にも注意喚起を行い、万全を期したいと考えている。ほかに施設面では、これまでから老朽化に伴う大規模修繕や利便性の向上のため、設備改善の経費を宇治市により予算措置されており、今後も法人予算とあわせて、より安全・安心の中で施設をご利用いただけるよう、宇治市との連携を図る。

さらに、自然災害や突発的な事件事故、感染症等が発生した場合には、業務継続計画(BCP)(※2)に基づいて、臨機応変に速やかな対応を行い、人的物的資源の損失を最小限に抑えつつ、一日も早く日常的な状況へ戻れるよう、業務の継続を図ることとする。現下の状況では、新型コロナウイルス感染症への対応に、自然災害への対応が重なることも想定しておく必要があると考えている。

そして、有限会社笠取ファームは既述の施設運営上の大切なパートナーであり、コロナ禍でのお客様の利用状況の大きな変化を乗り切り、お客様のニーズに的確に答えていけるように連携を図り、協力体制をより強固なものにする。

最後に、昨年度はコロナ禍と並行するように野外活動の人气が高まり、アクトパルを初めて利用されるお客様も多数おられた。当法人としては、お客様がアクトパルを創り育てる人となっていただけるよう、Make it together を重点目標にして、笠取の自然の中で豊かな心や公共心を涵養できるよう、施設の管理運営を行う。

(※1)SDGs…Sustainable Development Goals の略。2015 年の国連サミットで採択された、2030 年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標。17 のゴール・169 のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない」ことを誓っている。

(※2)業務継続計画(BCP)…災害等発生時に事業を継続するため策定した計画。

## 2-1. 公益目的事業

### (1) 活動支援事業

お客様が施設を利用されるにあたり、円滑な活動ができるよう、活動の紹介やオンラインでの情報発信などにより支援を行い、体験を希望される際には、その実施について調整を図る。

また、より充実した活動プログラムの開発を行うための野外活動等に関する最新情報の収集を行う。

(支援の例) 天体観察での天文プログラムの実施、陶芸や木工作品等の創作活動の指導・助言、農業体験やふるさと体験等の紹介、ホームページ・メールインフォメーション・SNS によるイベントや施設の情報発信。

### (2) 野外活動奨励事業

参加無料のイベントを開催し、誰でも気軽に野外活動に親しんだり交流の場を広げたりする機会を提供することにより、幅広い層にアクトパルの魅力を知ってもらい、野外活動の推進を図るため、施設利用の促進につながることを目指す。

(事業一覧は 3 ページから)

### (3) 活動体験事業

定員を設けた有料イベントを開催し、丁寧なサポートとアクトパルならではの充実したプログラムを提供して生涯学習の推進を図る。

親子で参加しやすいように初心者向けの単発イベントを中心にしており、野外活動に深く興味を持つ人を育てる連続企画や経験者向けのプログラム、登録制のクラブも実施する。

(事業一覧は 5 ページから)

### (4) 宇治市総合野外活動センター管理運営事業

宇治市より宇治市総合野外活動センターの運営を受託し、施設管理を行うとともに、施設使用の申請許可、施設使用料の徴収、施設使用の調整、活動プログラムの相談などを行う。

## 2-2. 収益事業

宇治市より受託する宇治市総合野外活動センターの運営において、体験活動や学校教育活動などを目的としない宿泊施設のみの利用や企業の研修利用なども受け入れる。






### 3. 事業一覧

公益目的を達成するために、野外活動はもちろん陶芸をはじめとした工作棟での製作や大小の天体望遠鏡を活用した天体観察など、さまざまなジャンルで年間約50のイベントを実施する。

感染症対策を徹底して事業を実施するが、新型コロナウイルス感染症の状況によっては内容を縮小あるいは事業自体を中止する場合がある。








#### ◎野外活動奨励事業








開催日	事業名	目的	SDGs 目標
令和3年 4月2日(金)	春のグラウンド・ゴルフの日&講習会	グラウンド・ゴルフ場を無料開放し、初心者向け講習会を開催することで、生涯スポーツとしてのグラウンド・ゴルフの普及を図る。	
4月4日(日)	春のひろば (例年は春まつり)	桜が見ごろの時期に地元特産品の販売や市民グループ・障害者施設の出店を行うことで、市民が自然に親しむ機会を創出し、地域振興・交流の機会につなげる。	
6月6日(日)	アクトパルであそぼう!	新緑の時期にスタンプラリー、丸太切り体験、工作などの自然豊かな施設の特徴を生かした多彩なイベントを実施することによって、市民が自然に親しむ機会を創出する。	 
8月9日(月・振休)	山であそぼう!	山の日にちなんで生物調査、標本づくり、工作などを実施し、山の自然を身近に感じてもらおう機会にする。	 
9月3日(金)	秋のグラウンド・ゴルフの日&講習会	グラウンド・ゴルフ場を無料開放し、初心者向け講習会を開催することで、生涯スポーツとしてのグラウンド・ゴルフの普及を図る。	
10月10日(日) 予備日 10月17日(日)	秋まつり	(有) 笠取ファーム、笠取小学校と共催し、地元特産品の販売や市民グループ・障害者施設の出店、地域の活動紹介を行うことで、地域振興・交流の場を創出する。	
10月31日(日)	ハロウィンをたのしもう!	ハロウィンの時期に合わせて、カボチャ飾りの工作、仮装の服作り、ファッションショーなどを通して風習や手作りの楽しさを味わう。	

開催日	事業名	目的	SDGs 目標
12月～ 令和4年2月	わいわいホリデー (全15回)	ゆったり過ごしてもらえ室内で、季節にちなんだ楽しい企画を盛り込み、冬場も楽しめるアクトパルの魅力を広報し、冬場の楽しさを提供する。	
12月12日(日) 令和4年 1月9日(日) 2月20日(日)	体育館であそぼう (全3回)	体育館を無料開放して、冬でもスポーツを楽しめる場を提供する。また、アクトパルの体育館を知ってもらう機会にする。	
1月～2月 (毎週土曜日)	笠取交湯会(全8回)	笠取地域の住民を対象に大浴場を開放することにより、交流の場を提供し、地域との結びつきを深める。	
1月8日(土)	獅子舞演舞&もちつき	炭山の市民グループ「自然と文化の会」による獅子舞の演舞と、笠取産のもち米を使って杵と臼でもちをつくことで、古くから受け継がれる伝統や風習を学ぶ機会とする。	
1月15日(土) 2月26日(土)	星空オープンデー (全2回)	施設内の望遠鏡などの天体観察設備の特長を生かし、星空に関心を持ってもらう。また、天文ボランティアの活動の場を創出する。	



◎活動体験事業



開催日	事業名	目的	SDGs 目標
令和3年 4月18日(日)	春の野草探しとヨモギもちづくり	施設内での野草摘みを通して、食用にできる植物を知り、摘んだヨモギを材料にしたもちを調理して食育の一助とする。 《予定定員24》	
5月4日(火・祝) 5月5日(水・祝) ※9月に稲刈り収穫体験を予定	田んぼ体験 ～田植え&稲刈り～	地元農家の協力により、田んぼで田植えと稲刈りの両方を体験する。自分で植えた稲苗が田んぼで育つのを観察し、稲穂が垂れたタイミングで稲刈りをするすることで、自然の恵みを体感し食べ物を大切にする心の醸成につなげる。 《予定定員各40》	
5月15日(土) 5月16日(日)	お茶つみ体験&茶団子づくり	施設内の茶畑での茶摘み体験から製茶及び茶団子づくりまでを通して宇治の代表的な産品である茶のことをよく知ってもらう機会にする。 《予定定員各24》	
5月30日(日)	アクトパル de サバイバル	初心者向けの火起こしや野外炊事などのアウトドア体験を通して、身近な自然に親しみきっかけづくりをする。 《予定定員24》	
6月13日(日) (2回開催)	陶芸教室～入門編～	陶芸をはじめたい人のために初心者向けの教室を開催し、陶芸に親しんでもらうとともにより上級の作品に取り組むことができるように案内する。 《予定定員各24》	
6月26日(土) 6月27日(日)	じゃがじゃがクッキング	(有)笠取ファーム所有の畑でじゃがいも掘りを体験し、収穫したてのいもを野外炊事棟で調理することにより、農業体験と野外炊事の両方の楽しさを知ってもらう。 《予定定員各24》	
7月4日(日)	藍染をたのしもう! (新)	アクトパルで育てた藍の乾燥葉を利用し、藍染講師の指導で、ハンカチや綿素材のものに模様をつける藍染の実技を通して伝統工芸について学ぶ機会とする。 《予定定員24》	
7月17日(土) 7月18日(日)	流しそうめんセットをつくらう!	家族が協力して、竹が材料の流しそうめんの台や食器をつくったり工作をしたりしてモノづくりの楽しさを共有することにより、家族のきずなを深める機会とする。 《予定定員各24》	

開催日	事業名	目的	SDGs 目標
7月24日(土)	虫ムシ大作戦	虫捕りや観察を通して身近な自然に親しみ、豊かな生態系を守ることの大切さを学ぶ。 《予定定員 24》	
8月1日(日)	夏休み親子工作デー	夏休みに親子が協力して木工作品作りに取り組むことにより、親子の協力関係を築くきっかけづくりを行うとともに、講師の指導で工作道具の正しい使い方なども学び、モノづくりの楽しさを体感することを目指す。 《予定定員 24》	
8月22日(日)	ちびっこアウトドア	知らない者どうしのこども達が協力して野外炊飯・工作等を行うことで交流を図るとともに野外活動の場を創出し、学生ボランティアをリーダーにすることで学生が野外活動の指導力を習得する機会とする。 《予定定員 20》	
8月28日(土) ~29日(日)	親子 de キャンプ	キャンプ経験のない家族が気軽に参加できて、普段と違った環境の中での家族内のコミュニケーションづくり、キャンプやアウトドアに親しむ契機となることを目指す。 《予定定員 24》	
9月11日(土) 9月12日(日)	アウトドアクッキング	地元のイタリアン店のシェフに生地づくりから教わる窯焼きピザづくりを体験することを通して、アウトドアでの料理を楽しむ、食育につなげる。 《予定定員各 24》	
10月23日(土) 10月24日(日)	いもほり&クッキング	畑でさつまいも収穫した後、とれたてのさつまいもを使って炊事棟で簡単なお菓子類を作ることによってアウトドアでの料理を楽しむ、食育につなげる。 《予定定員各 24》	
11月3日(水・祝)	燻製をたのしもう! (新)	簡単な方法で、肉をはじめ意外な食材を燻製することによって、野外ならではのクッキングを身近に感じてもらえる機会とする。また、燻製の技法を知ることで無駄のない食材の消費を考える機会とする。 《予定定員 24》	



開催日	事業名	目的	SDGs 目標
11月6日(土) 令和4年 3月6日(日)	畑体験 ～玉ねぎの苗と種い もの植え付け&収穫 ～	地元農家の協力により、畑での植え付けと 収穫の両方を体験する。自分で植えた苗が 育ち、春を迎えて収穫、さらに調理するこ とで食べ物を大切にする心の醸成につな げる。(収穫は令和4年4月と6月に予定) 《予定定員 50》	
11月14日(日) (2回開催)	そば打ち体験	プロのそば職人を講師にして手打ちそば づくりを体験し、ふるさとの食文化や手作 りの楽しさを体感する機会とする。 《予定定員各 16》	
11月20日(土) 11月21日(日)	ふるさとを味わおう	ひき臼を使ったきなこづくりや、杵と臼を 使ったもちつきを通して、地域に伝わる昔 の道具の使い方や食べ物の文化に触れる。 《予定定員各 24》	
11月23日(火・祝)	秋のピクニック	紅葉を楽しみながら施設周辺の里山を歩 き、樹木の説明などで自然との接し方を学 ぶ。また、落ち葉焚きで笠取産の焼き芋を 味わい、アクトパルの魅力を体感する。 《予定定員 24》	
12月5日(日) (2回開催)	クリスマスリースづ くり	施設周辺の植物など自然の素材を生かし たオリジナルのリースづくりを通して、豊 かな自然やモノづくりの楽しさ、クリスマ スリースの由来を知る。 《予定定員各 24》	
12月12日(日)	ダッチオープンでケ ーキをつくらう！ (新)	クリスマスの時期に合わせて、野外炊事の 道具を使ってケーキを作り、アウトドアで のクリスマスを楽しんでもらう。 《予定定員 24》	
12月18日(土) 12月19日(日)	バウムクーヘンをつ くらう！	寒い冬に野外でのバウムクーヘン作りに 挑戦することによって、アウトドアの料理 の奥深さに触れるとともに、家族で協力 し、作り上げることでコミュニケーション を図る。 《予定定員各 24》	
12月25日(土) 12月26日(日)	ミニ門松・鏡もちづく り&もちつき	迎春準備としてのミニ門松づくりともち つきからのミニ鏡もちづくりを体験する ことで、古くから受け継がれている伝統や 風習に親しむ。 《予定定員各 24》	

開催日	事業名	目的	SDGs 目標
令和4年 1月10日(月・祝)	陶器のランタンづくり	切り絵象嵌の技法を用いて筒状のランタンを作り、陶芸の楽しさに触れる。 《予定定員24》	
1月16日(日)	冬のぼかぼかハイキング	笠取の旧跡を巡りながら里山を歩き、冬ならではの笠取の自然を体感するとともに、地元農家のしいたけ栽培の見学など笠取の農産品を知ってもらい地元との交流も図る。 《予定定員24》	 
1月23日(日)	冬のアウトドアクッキング	冬に屋外で家族が協力して体の温まる料理を作って食べることで、コミュニケーションの場を提供するとともに、地元産の野菜を使って笠取の農産品を知り、冬のアウトドアの楽しみ方を知るきっかけとする。 《予定定員24》	 
2月11日(金・祝)	陶芸教室 ～ろくろ編～	陶芸経験者を対象に、電動ろくろを使った作品づくりに挑戦し、ステップアップを目指す。 《予定定員24》	
2月13日(日) (2回開催)	しいたけの菌打ち体験	地元農家を講師に招き、しいたけの菌打ちやほだ木の育て方を学ぶことを通して、笠取の農業・特産品を知るきっかけにする。 《予定定員各24》	 
2月20日(日) 2月23日(水・祝)	手打ちうどん教室	うどん打ちの講師による笠取の名水を使ったうどん作りを通して、ふるさとの食文化や手作りの良さを学ぶ。 《予定定員各24》	 
2月26日(土) ～27日(日)	冬の木工教室	2日間かけて本格的な木工作業に取り組むとともに、市民グループを講師に招くことで活動の場を創出する。《予定定員24》	
3月19日(土) ～20日(日)	ちびっこキャンプ	知らない者どうしのこども達が協力して野外炊飯・工作等を行うことで交流を図るとともに野外活動の場を創出し、学生ボランティアをリーダーにすることで、学生が野外活動の指導力を習得する機会とする。 《予定定員20》	 
3月27日(日)	BBQをたのしもう!	家族で野外BBQを楽しめるよう、野外炊飯の基本やコツなど実践を通して習得する。 《予定定員24》	

◎活動体験事業（単発事業を複数回実施）

開催日	事業名	目的	SDGs 目標
令和3年 ①5月22日（土） ②7月17日（土） ③9月25日（土） ④11月7日（日） ⑤12月11日（土） ～12日（日） 令和4年 ⑥3月12日（土）	天文教室 「天体望遠鏡製作」 「夏の星座」 「太陽系について知ろう！」 「ペットボトルロケット」 「宿泊天文教室」 「プラネタリウム体験」	天体観察だけではなく、テーマに合わせた話や工作・実験などを交えて、奥深い天文の世界に触れる機会とする。 《予定定員各 24》	
令和3年 ①4月10日（土） ②5月6日（木） ③6月5日（土） ④7月3日（土） ⑤9月18日（土） ⑥10月2日（土） ⑦11月5日（金） ⑧12月4日（土） 令和4年 ⑨1月6日（木） ⑩2月19日（土） ⑪3月5日（土）	グラウンド・ゴルフ大会	グラウンド・ゴルフを通して、自然とのふれあいや人々の交流の場を提供する。 《予定定員各 50～100》	
●3月18日（金）	●チャンピオンシップ大会	1年の成果を確かめるために、年間通算成績上位の方を対象にした大会を開催する。	

◎活動体験事業（年間通して申し込み）

開催日	事業名	目的	SDGs 目標
令和3年 ①5月23日（日） ②7月11日（日） ③9月26日（日） ④11月28日（日） 令和4年 ⑤2月5日（土） ～6日（日）	アウトドアクラブ （全5回）	年5回の連続講座で、初回は火起こしなどのアウトドアの基礎を学び、ステップアップしながら最終回はキャンプ場で宿泊し、自立してアウトドア活動ができることを目指す。また、回ごとに新しいメニューを取り入れ、新企画につなげられるようモニターになっていただく。 <p style="text-align: right;">《予定定員 24》</p>	
4月8日（木） ～令和4年3月	陶芸クラブ （全72回）	年間登録しているクラブ員が対象で、毎月6回設けた活動日に通年で陶芸に親しんでもらう。成果を発表する機会として、年1回展示会を催す。 <p style="text-align: right;">《予定定員 50》</p>	

#### 4. 積立事業

工作棟において開設当初から使用している電気陶芸窯の老朽化が進んでおり、人気の高い陶芸プログラムのサービスを維持するために、新たな陶芸窯を取得する目的で、工作棟の陶芸窯を購入する費用として令和元年度から令和4年度までの4年間で170万円を限度額として積み立てているところである。

議案第5号

令和3年度公益財団法人宇治市野外活動センター  
収支予算について

令和3年度公益財団法人宇治市野外活動センター収支予算を別紙のとおり定めることについて、議決を求める。

令和3年3月6日提出・可決

公益財団法人宇治市野外活動センター  
代表理事 杉 本 厚





令和3年度

収支予算

公益財団法人 宇治市野外活動センター

**収支予算書**（損益ベース）  
令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

（単位：円）

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	20,000	20,000	0
事業収益			
指定管理料収益	57,436,000	59,453,900	△ 2,017,900
自主事業収益			
材料費収益	1,200,000	2,000,000	△ 800,000
奨励事業収益	139,000	153,000	△ 14,000
活動体験事業収益	2,777,000	3,816,000	△ 1,039,000
受取補助金等			
受取地方公共団体補助金	80,276,000	78,915,000	1,361,000
雑収益			
雑収益	30,000	30,000	0
経常収益計	141,878,000	144,387,900	△ 2,509,900
(2) 経常費用			
事業費			
給料手当	54,808,642	53,616,476	1,192,166
臨時雇賃金	4,804,240	4,805,000	△ 760
退職給付費用	2,425,280	2,479,180	△ 53,900
福利厚生費	10,110,557	9,863,418	247,139
食糧費	169,000	366,000	△ 197,000
旅費交通費	2,435,420	2,494,500	△ 59,080
通信運搬費	1,102,700	1,128,700	△ 26,000
減価償却費	143,242	69,629	73,613
消耗品費	3,405,000	4,750,000	△ 1,345,000
修繕費	1,500,400	1,500,400	0
印刷製本費	970,000	970,200	△ 200
燃料費	2,298,000	2,270,400	27,600
光熱水料費	12,852,600	13,000,900	△ 148,300
賃借料	3,338,600	5,248,100	△ 1,909,500
保険料	119,000	189,000	△ 70,000
諸謝金	1,906,000	1,959,000	△ 53,000
負担金	14,300	15,400	△ 1,100
委託費	34,930,100	35,021,300	△ 91,200
手数料	92,000	108,000	△ 16,000

科目	当年度	前年度	増減
管理費			
役員報酬	868,000	868,000	0
給料手当	1,989,208	1,948,524	40,684
退職給付費用	114,280	116,820	△ 2,540
福利厚生費	301,963	294,582	7,381
会議費	4,600	6,000	△ 1,400
食糧費	3,290	4,000	△ 710
報償費	21,600	22,000	△ 400
旅費交通費	51,920	52,000	△ 80
通信運搬費	108,000	108,000	0
消耗品費	175,160	151,000	24,160
印刷製本費	0	59,000	△ 59,000
広告料	132,000	132,000	0
賃借料	0	44,000	△ 44,000
保険料	209,380	208,000	1,380
租税公課	143,280	114,000	29,280
負担金	68,620	69,000	△ 380
手数料	4,860	5,000	△ 140
経常費用計	141,621,242	144,057,529	△ 2,436,287
評価損益等調整前当期経常増減額	256,758	330,371	△ 73,613
基本財産評価損益等			
特定資産評価損益等			
投資有価証券評価損益等			
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	256,758	330,371	△ 73,613
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	256,758	330,371	△ 73,613
一般正味財産期首残高	2,021,762	1,623,991	397,771
一般正味財産期末残高	2,278,520	1,954,362	324,158
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	50,000,000	50,000,000	0
指定正味財産期末残高	50,000,000	50,000,000	0
III 正味財産期末残高	52,278,520	51,954,362	324,158

収支予算書内訳表 (損益ベース)

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位:円)

科目	公益目的 事業会計	収益事業 等会計	法人会計	内部取 引消去	合計
	野外活動 センター 運営事業	野外活動 センター収益 運営事業			
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
基本財産運用益					
基本財産受取利息	20,000				20,000
事業収益					
指定管理料収益	56,861,640	574,360			57,436,000
自主事業収益					
材料費収益	1,200,000				1,200,000
奨励事業収益	139,000				139,000
活動体験事業収益	2,777,000				2,777,000
受取補助金等					
受取地方公共団体補助金	75,311,224	768,615	4,196,161		80,276,000
雑収益					
雑収益	30,000				30,000
経常収益計	136,338,864	1,342,975	4,196,161	0	141,878,000
(2) 経常費用					
事業費					
給料手当	54,241,851	566,791			54,808,642
臨時雇賃金	4,756,198	48,042			4,804,240
退職給付費用	2,399,884	25,396			2,425,280
福利厚生費	10,006,432	104,125			10,110,557
食糧費	169,000				169,000
旅費交通費	2,411,096	24,324			2,435,420
通信運搬費	1,092,513	10,187			1,102,700
減価償却費	143,242				143,242
消耗品費	3,398,360	6,640			3,405,000
修繕費	1,485,396	15,004			1,500,400
印刷製本費	960,300	9,700			970,000
燃料費	2,275,020	22,980			2,298,000
光熱水料費	12,724,074	128,526			12,852,600
賃借料	3,305,214	33,386			3,338,600
保険料	119,000				119,000
諸謝金	1,906,000				1,906,000
負担金	14,157	143			14,300
委託費	34,583,029	347,071			34,930,100
手数料	91,340	660			92,000

科目	公益目的 事業会計	収益事業 等会計	法人会計	内部取 引消去	合計
	野外活動 センター 運営事業	野外活動 センター収益 運営事業			
管理費					
役員報酬			868,000		868,000
給料手当			1,989,208		1,989,208
退職給付費用			114,280		114,280
福利厚生費			301,963		301,963
会議費			4,600		4,600
食糧費			3,290		3,290
報償費			21,600		21,600
旅費交通費			51,920		51,920
通信運搬費			108,000		108,000
消耗品費			175,160		175,160
広告料			132,000		132,000
保険料			209,380		209,380
租税公課			143,280		143,280
負担金			68,620		68,620
手数料			4,860		4,860
経常費用計	136,082,106	1,342,975	4,196,161	0	141,621,242
評価損益等調整前当期経常増減額	256,758	0	0	0	256,758
基本財産評価損益等					
特定資産評価損益等					
投資有価証券評価損益等					
評価損益等計	0	0	0	0	0
当期経常増減額	256,758	0	0	0	256,758
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
経常外収益計	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用					
経常外費用計	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	256,758	0	0	0	256,758
一般正味財産期首残高	2,021,762	0	0	0	2,021,762
一般正味財産期末残高	2,278,520	0	0	0	2,278,520
II 指定正味財産増減の部					
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	50,000,000	0	0	0	50,000,000
指定正味財産期末残高	50,000,000	0	0	0	50,000,000
III 正味財産期末残高	52,278,520	0	0	0	52,278,520